



鈴木 康夫

SUZUKI Yasuo

教授 生命健康科学部理学療法学科

【学位】薬学博士(静岡薬科大学)

【学歴】静岡薬科大学大学院薬学研究科

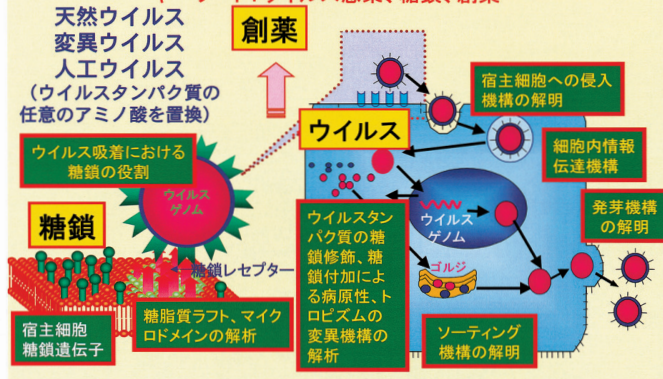
専門分野 生化学、ウイルス学、糖鎖生物学

研究テーマ ウイルス感染における糖鎖機能の解明と創薬へ応用

研究のねらい

ウイルス感染における糖鎖および糖鎖関連分子の機能を解明し、創薬への応用を目指す。

キーワード: ウイルス感染、糖鎖、創薬



研究紹介

糖鎖は、核酸、タンパク質と並ぶ第3の生命鎖として、またポストゲノムの重要な機能産物として、21世紀の科学分野で大きな注目を浴びている。我々は様々なウイルス感染成立に宿主細胞の糖鎖が極めて重要な働きをしていることを見出してきた。これまで、インフルエンザウイルスをはじめヒト免疫不全ウイルス(HIV)、小児下痢症ウイルス(ロタウイルス)、デング熱ウイルス、呼吸器感染症ウイルス(例えばパラミクソウイルス群)など、多くのウイルスの宿主細胞への吸着、感染に糖鎖が関わることを見出し、その化学構造を決定し、感染や宿主認識における糖鎖の役割を明らかにしてきた。現在は、高病原性トリインフルエンザウイルスのヒトへの伝播機構の解明を中心に、様々な角度から、インフルエンザの世界流行のメカニズムの解明、新しい抗ウイルス薬やワクチン、ウイルス診断薬の開発などに関わる研究を進めている。